

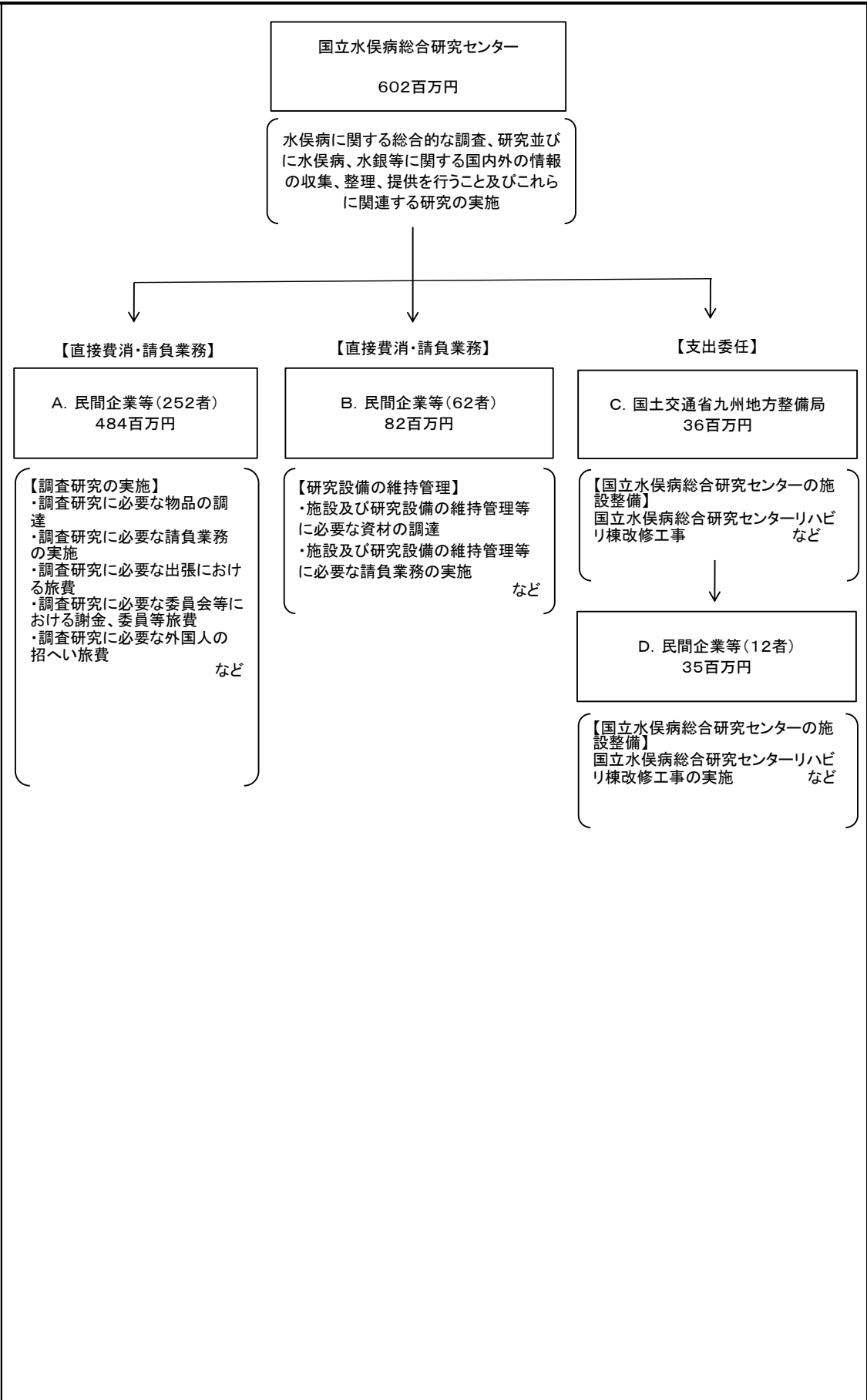
平成24年行政事業レビューシート

(環境省)

事業名	国立水俣病総合研究センター	担当部署	国立水俣病総合研究センター	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	昭和53年度	担当課室	総務課	総務課長 佐藤克子			
会計区分	一般会計	施策名	7-2水俣病対策 9-3環境問題に対する調査・研究・技術開発				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	環境省設置法第4条及び環境省組織令第42条	関係する計画、通知等	該当なし				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	水俣病に関する総合的な調査、研究並びに水俣病、水銀等に関する国内外の情報の収集、整理、提供を行うこと及びこれらに関連する研究の実施を目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①研究活動 水銀の健康影響の研究、環境中の水銀動向に関する研究、水銀分析に関する研究、水俣病の社会学研究など、水俣病問題及び水銀問題の解決に向けた研究 ②地域貢献 水俣病被害地域の社会福祉協議会等と協力をしたリハビリテーション・介護予防指導 ③国際貢献 海外技術者の研修受入や当センター研究者の派遣による水銀分析・測定技術の技術移転等 ④情報収集・発信 水俣病関係資料の収集・整備及びそれらの情報を活用した水俣病教訓の情報発信						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	606	411	612	359	373
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	97	△34	△2	36	
		計	703	377	610	395	
	執行額	641	372	602			
執行率(%)	91.2%	98.7%	98.7%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	当センターの実施する事業については水俣病の研究の推進等に特化しており、一定の成果が認められるものの、これらは未だ発展途上にある継続的な事業分野であり、水俣病問題において定量的に示すことのできる成果実績に結びつく段階には至っていないため、定量的な成果目標及び実績を示すことができない。	成果実績	-	-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	地域と協力をしたリハビリテーション事業への参加者	活動実績 (当初見込み)	人	13,708	15,775	15,427 (15,775)	- (15,427)
	国際貢献事業実施数(研修受入・共同研究)	活動実績 (当初見込み)	人	206	157	153 (157)	- (153)
	水俣病情報センター来館者数	活動実績 (当初見込み)	人	40,824	42,438	46,111 (42,438)	- (46,111)
単位当たりコスト	平成23年度 リハビリテーション事業への参加者1人当たりのコスト(2,341円/1人)	算出根拠	事業実施に必要な経費/参加者数				
	平成23年度 国際貢献事業実施数 1人当たりのコスト(81,503円/1人)	算出根拠	事業実施に必要な経費/参加者数				
	平成23年度 水俣病情報センター来館者数1人当たりのコスト(340円/1人)	算出根拠	水俣病情報センター運営のために必要な経費/来館者数				
平成24年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	4	4	事業の拡充 外国人の招へいを伴う事業の縮小  事業規模の縮小			
	職員旅費	1	1				
	委員等旅費	4	4				
	外国人招へい旅費	1	1				
	試験研究費	314	331				
	招へい外国人滞在費	4	2				
	施設施工旅費	1	1				
	施設施工庁費	1	1				
	施設整備費	29	28				
計	359	373					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	平成21年の特措法の成立や平成25年度中の水銀条約調印に向け、水銀問題に対する国内外の関心が高まっており、その中で当センターは日本国内で唯一水銀問題に特化した研究機関であり、近年は高水準の執行率を保っている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	総支出額(国庫債務負担行為による随意契約を除く)における70%程度を競争入札により調達しており、競争性の確保並びにコスト削減に努めるとともに、請負者との連絡を密にして指導監督を実施し、適正な支出内容の確保を図っている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	水俣病に関する専門の研究機関としての役割の元、研究職員それぞれが、限られた予算の中で最大限の研究成果を得られるよう研究手段を検討しており、毎年学会や論文等を通じ成果の発信、評価を受けている。それらの研究を支える各種施設や設備についても、共同研究や海外研究者の受け入れ等、幅広い利活用を推進している。さらに、これらの施設・設備の維持管理においても創意工夫を重ねあらゆる延命対策を実施しており、様々な選択肢を検討しつつ真に必要な箇所の更新となるよう努力している。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	※類似事業名とその所管部局・府省名	
点検結果	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	当センターの事業内容については、国内外の水銀問題に対する要請に応えるべく、高い専門性と強力な実施体制の元、上記特記事項に記載の通り様々な努力を重ね、適切に執行できているものと思われる。定量的な活動実績については年度によるばらつきが見られるが、原因を検討し改善を図り、今後ともより効果的・効率的な事業内容となるよう努めて参りたい。
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り		引き続き効率的な事業実施に努めること。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減		人件費や消耗品費等を見直すことにより、概算要求額を縮減。	
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
平成21年度決算検査報告における不当事項 「物品の購入等及び調査・研究等の請負又は委託に当たり、事実と異なる内容の関係書類を作成するなど不適正な会計経理を行って試験研究費、公害調査等委託費等を支払っていたもの」 において指摘を受けたため、会計事務担当者に対する内部牽制の一層の充実を図るとともに、法令遵守に係る内部統制を確立することにより、かかる事態の再発防止に努めている。			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	295	平成23年行政事業レビュー	231

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)



**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.(株)日医リース			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
借料及び損料	脳磁計リース	96			
計		96	計		0
B.(株)アニマルケア			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	実験動物飼育管理業務 3人	14			
その他	本社管理費	2			
計		16	計		0
C.国土交通省九州地方整備局【支出委任】			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	国立水俣病総合研究センターリハビリ棟改修工事 他	36			
計		36	計		0
D.(株)藤島工務店			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。	31			
計		31	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日医リース	脳磁計システム賃貸借業務	96	-	-
2	株式会社イケダ科学	近赤外光脳計測装置の購入	47	3	90.7%
3	株式会社八尾日進堂	細胞解析装置1式の購入	40	1	93.8%
4	株式会社フジコーガク	共焦点レーザー顕微鏡システム1式の購入	40	2	100.0%
5	西川計測株式会社	ガスクロマトグラフィー液体クロマトグラフィー誘導結合プラズマ質量分析計1式の購入	34	1	95.0%
6	社会福祉法人水俣市社会福祉協議会	平成23年度介護予防等在宅支援のための地域社会構築推進事業(水俣地域)の実施	17	随意契約	-
7	社会福祉法人芦北町社会福祉協議会	平成23年度介護予防等在宅支援のための地域社会構築推進事業(芦北地域)の実施	15	随意契約	-
8	株式会社三州機器	レーザーマイクロダイゼクションシステム1式の購入	15	1	100.0%
9	ビーエルテック株式会社	天然水中栄養塩分析装置1式の購入	15	1	100.0%
10	株式会社ニコインステック	デジタルマイクロスコープ1式の購入	10	2	100.0%

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)アニマルケア	実験動物飼育管理業務の実施	16	1	99.8%
2	九州電力(株)	国立水俣病総合研究センター電気使用量	15	1	91.1%
3	(株)アイエスエフネット	国立水俣病総合研究センターネットワーク維持管理業務の実施	8	2	85.3%
4	富士通リース(株)	国立水俣病総合研究センターネットワークシステム構築及び機器賃貸借・保守等業務の実施	7	-	-
5	(株)千代田テクノル	放射線施設管理(実務)業務の実施	3	1	80.5%
6	社団法人水俣市シルバー人材センター	自動車運行管理業務の実施	3	2	89.7%
7	日本エレベーター製造(株)	国立水俣病総合研究センター等昇降機保守点検業務の実施	2	1	99.8%
8	ジョンソンコントロールズ(株)	水俣病情報センター中央監視装置保守点検業務の実施	2	2	83.1%
9	エヌ・ティ・ティコミュニケーションズ株	国立水俣病総合研究センターインターネット接続業務の実施	2	1	99.1%
10	株式会社静環検査センター	国立水俣病総合研究センターダイオキシン類等測定の実施	1	2	34.8%

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国土交通省九州地方整備局	国立水俣病総合研究センターリハビリ棟改修工事 他に係る支出委任	36	-	-

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)藤島工務店	国立水俣病総合研究センターリハビリ棟改修工事の実施	31	5	91.2%
2	カワシマ設備設計((有))	国立水俣病総合研究センター改修外設備設計業務の実施	2	10	74.9%
3	(株)ライト設計	国立水俣病研究センター(22)改修工事監理業務の実施	1	7	95.2%
4	(有)瀬口建築設計事務所	大分合同庁舎(22)改修外設計業務の実施	0.4	随意契約	-
5	熊本コピー(株)	青写真焼き付け製本及び第二原図作成	0.02	随意契約	-
6	個人A	出張旅費	0.02	-	-
7	個人B	出張旅費	0.02	-	-
8	個人C	出張旅費	0.02	-	-
9	個人D	出張旅費	0.02	-	-
10	個人E	出張旅費	0.02	-	-